



ひらどだい

令和3年度 学校だより 3月号 横浜市立平戸台小学校 校長 藤巻 孝之



【感】 ひらりん^{チャ チャ チャ}cha-cha-chaで 心 動く

校長 藤巻 孝之

夕方の公園。子どもたちが後ろ髪をひかれながら帰路につこうとしています。「バイバイ」「また明日」「学校でね」。別れ際のほんのわずかなやり取りに心がほっこりしました。いつでも友達と会える場所としての学校が、当たり前のように子どもたちの中にあることがうれしかったからです。

昇降口前の白梅がようやく咲き始めました。紅梅に遅れることちょうど一か月、昨年と比べると2週間ほど遅い開花となりました。教室にはまぶしく暖かな日差しが降り注いでいます。なぜかわかりませんが、今年ほど春の訪れを心待ちにした年はありません。感染症対策による制約の多い日々を長く送っているせいなのか、寒さに弱くなった自分の身体のせいなのか。いずれにしても、いよいよ、春本番です。

合言葉「ひらりん cha-cha-cha」をみなさんにお知らせしたのがちょうど一年前です。子どもたちや職員にはかなり親しまれてきたようで、日々の学習や生活の中で、「cha-cha-cha しよう」「cha-cha-cha できた」という声を聞いたり、振り返りのカードを目にしたりすることが増えました。みなさんにとってはいかがでしょうか。私個人の感覚ですが、物事が多くの人に浸透し、共有され、理解されるには3年ほどかかっていると思います。それも常にだれかがこだわりをもち、ことあるごとに言葉にしたり行動に移したりする必要があるのではないのでしょうか。かくいう私とその役割を担わなければならないのは当然です。

1月の学校だよりでは「3つの感」を紹介しました。「感動～本物に触れることができる体験的な学び」「感謝～台小サポーターズによる充実した学び」「実感～き（気付く）よ（寄り添う）う（受けとめる）し（信頼される大人になる）つ（繋ぐ）による安心安全な学び」です。令和3年度は子どもたちが多くの人、多くの場所、多くの出来事と出あうことができるよう努めてきました。台小サポーターズや外部講師の方々がたくさん来校され、その延べ人数は300名を超えました。宿泊を伴うものや近隣の施設を含めた校外学習も保護者のみなさんのご理解とご協力をいただきながら、コロナ禍にもかかわらず、大変充実した取組を実現することができました。また、学校施設、設備の設置、改修も進みました。そのたびに子どもたちは本物体験をし、歓声を上げ、顔を見合わせながら驚き、喜び、学びを広げたり、深めたりしていきました。今後も cha-cha-cha しながら心動かす教育活動を創造していきたいと思えます。目指すところはもちろん「自分らしさを発揮」し「伝え合う言葉の力」を養う中で「心をつなぎ 笑顔いっぱい みんなが輝く平戸台っ子」です。そのために私たちは

【感】 ひらりん cha-cha-cha で 心 動く

をキャッチフレーズとして、平戸台小学校をますます元気にしていこうと思えます。よろしくお願いいたします。

3月19日（土）の卒業証書授与式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業生、在校生（5年生）、卒業生保護者、職員のみで実施する予定です。ご理解、ご協力をお願いいたします。